

PROGRAM

《イタリア古典歌曲》より
 ガンジスに陽は昇りぬ スカルラッティ
 ラ ル ゴ ヘンデル
 カロ・ミオ・ベン ジョルダーニ

《ドン・ジョバンニ》第1幕より
 レボレッロのアリア「カタログの歌」 モーヴァルト

《ブラームス歌曲》より ブラームス
 五 月 の 夜
 日 曜 日
 教 会 墓 地 にて

~~~~~ 休 葬 ~~~~

# 四季のコンサート 夏

1989年7月4日(火) 7:00 PM  
浜松市民会館  
主催: 浜松音楽友の会

木村俊光バリトンリサイタル



## 曲 目 解 説

### [ガンジスに陽は昇りぬ]

17世紀から18世紀にかけて多くの重要な音楽家を出したスカルラッティ家のひとりアレッサンドロの作です。朝の清々しい感じが良く出た絵画的効果のある旋律の美しい曲です。

### [ラ ル ゴ]

今では殆ど上演される機会のないヘンデルのオペラ「セルセ」の第一幕冒頭のアリア。日本でも古くから独立した歌曲。編集されたピアノ伴奏曲として馴染みの深い曲でしたが、テレビCMでキャスリーン・バトルが歌い、一躍ポピュラーになりました。

### [カロ・ミオ・ベン]

ショルダーニはナボリに生まれ歌劇作家として活躍し、一時ロンドンにもいたこともあります。彼の残したオペラや宗教音楽は今日全く忘れ去られていますが、この「カロ・ミオ・ベン(愛しい我が恋人)」だけが歌い継がれています。

### [カタログの歌]

スペインきっての伊達男ドン・ジョヴァンニは従者レボレッロと共に町で出会った女に声をかけました。ところがこの女は事もあろうに自分がかって捨てたエルヴィラ。さすがのドン・ジョヴァンニもこれには大あわて、レボレッロにあとを託して逃げ出します。残されたレボレッロは何とかその場をとりつくろうと、主人が今まで閑わりあった女の名簿を取り出し、主人が女を捨てるのは珍しい事ではないと「スペインでは1003人・・・」と読みあげます。

### [五 月 の 夜]

不協和音、転調を効果的に置いて“五月の夜”の暗く寂しい甘さを感じさせる名曲です。

### [日 曜 日]

ブラームスがハンブルグの女声合唱団を指揮していたころに作曲したものです。歌詞はウーラントの編集した「古高ドイツと低ドイツの民謡」からとられ、曲も完全に民謡風であり、快活な楽しい曲となっています。

### [教会墓地にて]

五十歳を越えた時期の作で、老境に近い彼特有の諦観の念が込められた沈うつな歌です。

### [ドゥルシネア姫に心を寄せるドン・キホーテ]

ラヴェル最後の作品。ここに描かれているドン・キホーテの人間像は一般に時代錯誤、誇大妄想、または滑稽の代名詞として扱われているものとは違い、華麗でうつろな恋の詩を通して、その裏にある純粋で高潔なドン・キホーテの心と人柄を描いています。

### [二 人 の 兵 士]

このハイネの詩は、ナポレオンの部下であった二人の兵士がロシアに捕らえられやがて許されフランスへ帰る路で、ナポレオンが捕らえられたと聞き「自分が死んだらフランスの地に埋めよ。皇帝が再起したら私も墓から出て再び皇帝の為に起つ」という内容のもので、国歌を引用し一層詩の意味を生かしています。

### [平 城 山]

昭和10年の作。歌詩は短歌の形式を取り「仁徳天皇の皇后磐之媛命は薬用のかしわの葉を採る為に九州に向かわれましたが、その間に天皇は二番目の妃を迎え、これを聞いた皇后は再び都に帰らぬ決意をした」という故事によります。

### [ち ひ つ ぐ ん]

北原白秋の民謡集「日本の笛」から21篇を選んで作曲。日本の民謡調と西洋的手法とを融合させ、素朴なリリズムを漂わせた名作として「あの子この子」「びいでびいで」と共に広く親しまれています。

### [九 十 九 里 浜]

「平城山」と共に短歌雑誌「草の実」から題材をとっています。平井康三郎は日本の伝統音楽の素材を作品の中に生かし、独自の日本的情緒を讀めた曲を数多く作っています。